

ミヤコシ

初公開のラベル用 IJP - 11 月 27 日～29 日オープンハウス -

ミヤコシ(千葉県習志野市 ☎047-493-3854)は 11 月 27 日～29 日の 3 日間、同社 POD 事業部クリーンルーム(千葉県八千代市大和田新田 1091)において、「OPEN HOUSE2012」を開催する。

出展機種は全 11 機種におよび、「drupa2012」に出展した 2 機種のほか、今回が初公開となるインクジェットプリンター(IJP)2 機種、さらにバリエブルに抜き加工ができるレーザー加工機と LED-UV 採用のスリーブ式オフセット印刷機も初めて一般に公開する。

「drupa2012」に出展した 2 機種はフルカラー IJP「MJP20MX-7000」と、B2 サイズのページプリンターでパッケージ印刷にも対応できるとして国内外から注目を集めた液体トナー方式の「Miyakoshi Digital Press800」を出展する。

IJP ではラベル用の「MJP13LX-2000」は初公開となるもので、高解像度 1200×1200dpi、最大 8 色印刷ができ、ラベル用プリンターとしては最高域となる毎分 50m の生産性を確保。インキは水性顔料を採用した。また、印刷幅が最大 508mm 幅の IJP「同 20EX-6000」も初出展する。

ラベル用 IJP に組み込む事で、バリエブル印刷とバリエブル加工のインラインを実現するレーザー加工機「MSP13A-1000」を出展、一般公開は初めて。

さらに、新開発のバリエブルスリーブ式オフセット印刷機「MHL13A-3000」も今回の注目機種の一つ。高い印刷品質と準備時間の短縮を実現し、LED-UV 採用で、環境にやさしく、使用電力の低減に貢献する印刷機でこれもまた一般には初公開となる。

(2012 年 10 月 08 日 包装タイムス 掲載)